



円山未来プロジェクト

札幌市立円山小学校
教諭 三浦 南斗

発表の概要



1

円山未来プロジェクトの概要

2

本単元で力を入れた点

3

本単元で見られた課題

発表の概要

1

円山未来プロジェクトの概要

単元名
探究課題
実践概要

：『円山未来プロジェクト』

：近隣地域で起きている環境問題と向き合い方

：近隣地域で起きている害獣問題の中でもヒグマを単元の中
心として取り扱った。問題解決に携わる専門家の人々の思
いに触れる中で、「取り除く」のではなく「共に生きる」
ことの大切さに気付くことをねらった実践。



単元構成

ヒグマのイメージを作る (10時間)

ヒグマ問題の実情を知る。
ヒグマの生態を知る。
札幌市の対応を知る。
猟友会の活動を知る。

ヒグマとの共生を考える (13時間)

札幌市や猟友会の本音を聞く。
ヒグマのイメージを捉え直す。
住み分けの方法を考える。

円山の生物との共生を考える (7時間)

担当生物の生態を調べる。
生態を基に共生の方法を考える。
共生図鑑の作成をする。
成果発表会を開く。

1次

2次

3次

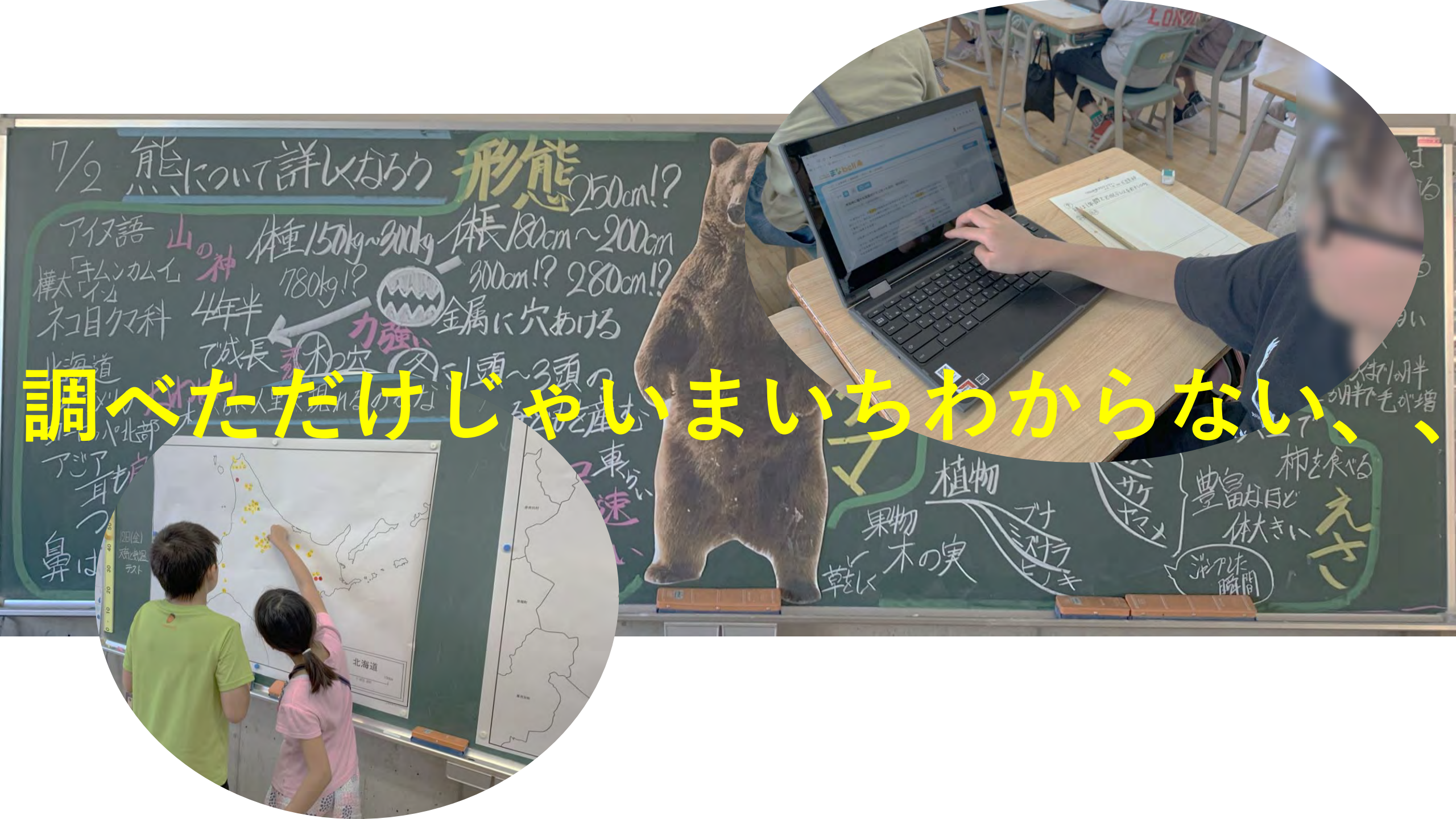
発表の概要

2

本単元で力を入れた点

本物との出会いの充実





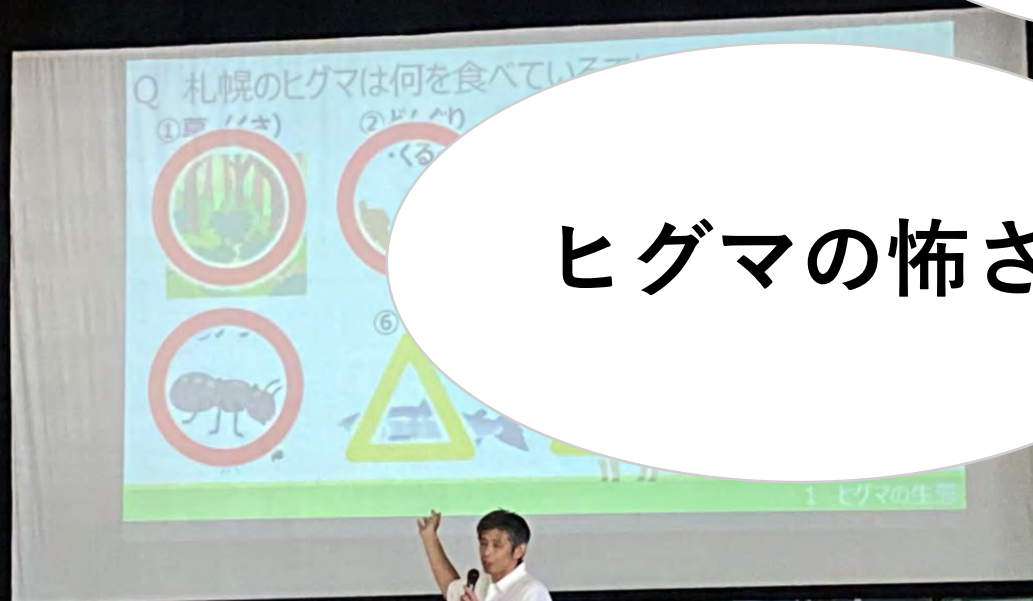
調べただけじゃいまいちわからない、

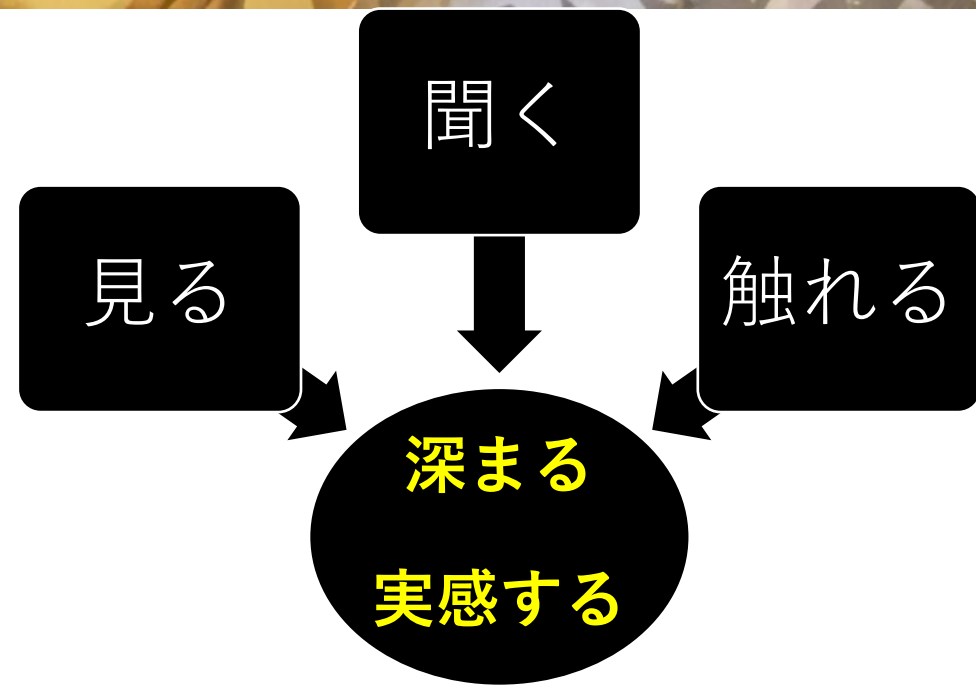
ヒグマの被害

ヒグマの怖さ

ヒグマの生態

札幌市環境局
環境都市推進部
環境共生担当課長
坂田 一人 様





命がけの仕事

命を奪う責任

森へ帰したい

猟友会 札幌支部理事
防除隊隊長
玉木 康雄 様

野生動物と向き合うには
射撃を含めて高度な技術が絶対条件

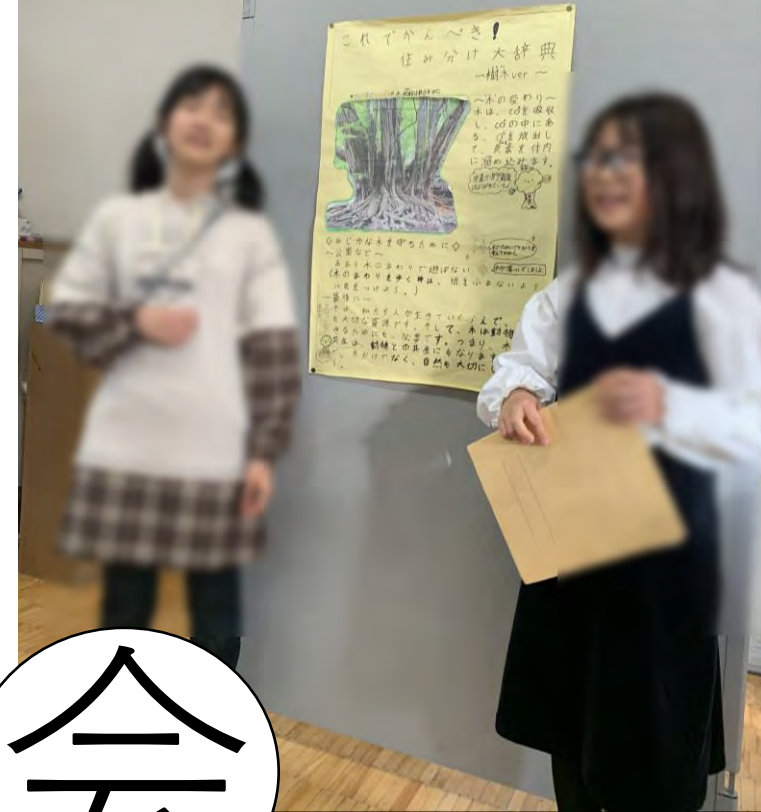


子どもの振り返りから

調べる中で、くまはとても凶暴で怖い動物だと思ったけど、坂田さんや玉木さんの話を聞いて、くまも私たちを怖がっていたことが分かり、くまに対する感情がかなり変わりました。くまだけでなく、ニセコで学習した外国人との共生にも目を向けていきたいです。（N・Nさん）

生き物との共生を考えるということに、札幌市の人や、猟友会の人も来てくれたというように、たくさんの人が関わってくれているのが総合なのだと思いました。自分の力だけで問題に取り組む姿勢がとても身に付いたんじゃないかと思いました。（K・Kさん）

3年生の総合に比べて難しかったことは、札幌市役所の人や、ハンターさんが来てくれて、たくさんのことが知れたけど、情報が多くて整理が大変だったことです。成長したなと思ったことは、情報がいっぱいあったけど、1個1個解決して「クマ」についてマスターできたことです。（S・Hさん）



実践発表会



発表の概要

3

本単元で見られた課題

実践学年が4年生で正しかったのか



人間側

ヒグマ側

相手の立場に立つ難しさ

だけ

人間もヒグマも幸せ=住み分け